

第六十五回帝國議會
衆議院

河川法中改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

河川法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和九年三月十日(土曜日)午後一時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松實喜代太君

理事石川 又八君 理事坂東幸太郎君

尾崎 天風君

出席政府委員左ノ如シ

內務省土木局長 唐澤 俊樹君

北海道廳長官 佐上 信一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

河川法中改正法律案(政府提出)

○松實委員長 是ヨリ前會ニ引續イテ會議ヲ開キマス、大體質問ハ終了ヲシテ居ルコトニナツテ居リマスガ、尙ホ質問ノアル方ガアルヤウデアリマスカラ、此際成ベク簡單ニ、質疑ヲ許シマス

○尾崎委員 北海道ニ今回河川法ヲ布カレルト云フコトハ、洵ニ結構ナコトデアリマス、私ガ御尋シテ置キタイト思ヒマスルノハ、從來二十六河川ニ對シテ國費支辨デアリマシタガ、今回河川法ヲ布カレマシテ、

此中何河川ニ河川法ヲ適用セラレルカ、又其全部ニ是ガ適用出來ナイモノト致シマシタナラバ、後ノ取殘サレマシタ所ノ河川ニ對シテハ、ドウ云フ風ニ相成ルモノカ、此取殘サレマシタ所ノ河川ニ關係ノアル住民ト致シマシテハ、此勅令ノ内容其他事情ニ精通シナイ者カラ見マスルト、如何ニモ差別待遇デモ受ケルヤウナ感ヲ懷ク者モナイトモ限ラナイト思フ、ソレ等ノ點ヲハッキリ政府當局カラ御答ヲ得タイト思ヒマス、先ヅソレヲ御尋致シマシテ、更ニ又質問ヲスルコトニ致シマス

○佐上政府委員 只今尾崎君ヨリ御質疑ガアリマシタ北海道ニ河川法ヲ施行スル關係上、如何ナル河川ニ河川法ヲ適用スルカ、是ハ要スルニ内務大臣ガ大體ニ於テ指定スルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、其指定ハ大體從來國費ヲ以テ改修ヲシ、又將來國費ヲ以テ改修スルコトニ豫算ニ決ッテ居ルモノニ對シテ、河川法ヲ施行シタイ、斯ウ云フヤウナ風ノ積リデアリマス、而シテ北海道ノ河川ノ中デ利害關係ガ重大デアルケレドモ、河川法ノ施行ニ付テ内務大臣ノ指

定セラレナイモノニ付キマシテハ、河川法ヲ準用ノ方法デ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソレデ將來準用シタ河川ニ對シテ、更ニ河川法ヲ適用スルヤウナ必要ノ生ジマシタ時ニ於テハ、大藏省ニサウ云フモノニ對シテ豫算ヲ要求シテ、豫算ガ確定スレバ、更ニ追加致シテ指定ヲシテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○尾崎委員 只今御質問申上ゲマシタ點ニ付キマシテハ了承致シマシタ、モウ一ツ御尋致シテ置キタイトハ、堤外地ヲ道廳ガ必要トシテ買収サレマス、斯ウ云フコトガアルノデアリマス、其村ニ永ク居住致シテ居ル農民ハ、其自分ノ有ッテ居リマスル土地ヲ已ムヲ得ズ治水、護岸等ノ關係カラ買収サレマス云フト、其處ニ替地等ガナイ、隨テ從來人情、風俗、其他生活上ニ彼等ハ慣レタ所ニ住ンデ居リタイト云フ氣持ヲ有ッテ居ルノデアリマス、ソコデ是等ノ土地ヲ道廳ハ水害等ガナケレバ、從來ソレヲ所有シテ居ッタ者カラ買収致シマシテモ、其有ッテ居ッタ者ニ其土地ヲ其儘貸シ與ヘルヤウナ方法ガアリマセスカ、此機會ニ於テ御尋

○尾崎委員 其處ハ中々私ト長官ト見解ヲ異ニスル所デアリマス、是ハ勿論道廳ガ買収セラレルノデアリマスカラ、土地ノ價ダケノモノハ、必ズ其農民ニ金ヲ與ヘラレルノデアルカラ、金錢上ノ問題ニ付テハ何等異議ハ起リマセヌガ、其土地ヲ去ルト云フコトガ彼等ニ取ッテハ苦痛トスル所デアリマス、故ニモウ一步進ンデ、從來カラ親讓リノ土地ヲ有ッテ住ッテ居ル者ニ對シテ、道廳ガ差支ナイ程度ニ土地ヲ其者ニ貸與ヘテヤルト云フヤウナコトヲ、一ツ道廳當局ニ於テ御考ヲ願ヒタイ、斯ウ云フノガ私ノ質問ノ要點デアリマス

シテ置キタイト思ヒマス

○佐上政府委員 堤外ノ土地デソレガ將來河川敷ニナリマスヤウナ場合ニ於キマシテ、十分ニ利用スルコトノ出來ルヤウナモノニ付テハ從前通り占用ヲ其人ニ許シタイ、占用ヲ禁止スルヤウナ必要ガアリマシタ時ニハ、其占用者ニ對シマシテ補償ヲ致シテ或ル程度ノ代金ヲ拂ッテ、サウシテ外ノ方面ニ移サセルト云フヤウナ考デ居リマス

○尾崎委員 其處ハ中々私ト長官ト見解ヲ異ニスル所デアリマス、是ハ勿論道廳ガ買収セラレルノデアリマスカラ、土地ノ價ダケノモノハ、必ズ其農民ニ金ヲ與ヘラレルノデアルカラ、金錢上ノ問題ニ付テハ何等異議ハ起リマセヌガ、其土地ヲ去ルト云フコトガ彼等ニ取ッテハ苦痛トスル所デアリマス、故ニモウ一步進ンデ、從來カラ親讓リノ土地ヲ有ッテ住ッテ居ル者ニ對シテ、道廳ガ差支ナイ程度ニ土地ヲ其者ニ貸與ヘテヤルト云フヤウナコトヲ、一ツ道廳當局ニ於テ御考ヲ願ヒタイ、斯ウ云フノガ私ノ質問ノ要點デアリマス

○尾崎委員 其處ハ中々私ト長官ト見解ヲ異ニスル所デアリマス、是ハ勿論道廳ガ買収セラレルノデアリマスカラ、土地ノ價ダケノモノハ、必ズ其農民ニ金ヲ與ヘラレルノデアルカラ、金錢上ノ問題ニ付テハ何等異議ハ起リマセヌガ、其土地ヲ去ルト云フコトガ彼等ニ取ッテハ苦痛トスル所デアリマス、故ニモウ一步進ンデ、從來カラ親讓リノ土地ヲ有ッテ住ッテ居ル者ニ對シテ、道廳ガ差支ナイ程度ニ土地ヲ其者ニ貸與ヘテヤルト云フヤウナコトヲ、一ツ道廳當局ニ於テ御考ヲ願ヒタイ、斯ウ云フノガ私ノ質問ノ要點デアリマス

○尾崎委員 其處ハ中々私ト長官ト見解ヲ異ニスル所デアリマス、是ハ勿論道廳ガ買収セラレルノデアリマスカラ、土地ノ價ダケノモノハ、必ズ其農民ニ金ヲ與ヘラレルノデアルカラ、金錢上ノ問題ニ付テハ何等異議ハ起リマセヌガ、其土地ヲ去ルト云フコトガ彼等ニ取ッテハ苦痛トスル所デアリマス、故ニモウ一步進ンデ、從來カラ親讓リノ土地ヲ有ッテ住ッテ居ル者ニ對シテ、道廳ガ差支ナイ程度ニ土地ヲ其者ニ貸與ヘテヤルト云フヤウナコトヲ、一ツ道廳當局ニ於テ御考ヲ願ヒタイ、斯ウ云フノガ私ノ質問ノ要點デアリマス

第六類第二十號 河川法中改正法律案委員會會議錄 第三回 昭和九年三月十日

○佐上政府委員 尾崎君ノ質問ハ、其河川敷ニナル堤外民有地ヲ、其儘河川敷ニナッ

テモ本人ガ使ッテ行クコトノ出來ルヤウナ場合ニハ、ソレヲ使ハセル、ソレヲ使ハセ

ヌヤウナ場合ニ於テハ、恐ラクハ一定ノ補償ヲシテ、更ニ其附近ノ、道廳ノ持ッテ居ル

土地ヲ貸シ與ヘテ貫ヒタイト云フヤウナ御希望ノヤウニ思ヒマス、是等ノ點ハ要スル

ニ實際問題ニ當リマシテ、取扱上ノ關係デ不都合ノナイヤウナ風ニ考慮シテ行キタ

イ、唯、併シ何處ノ地方ニ付テモ、同一ノ取扱ヲスルト云フヤウナコトハ出來マセヌケ

レドモ、サウ云フヤウナモノガ河川敷デ買收セラレタ關係上、非常ニ不利不便ヲ感ズ

ルノデ、其者ガ他ニ土地ヲ獲得スル必要ガアル場合ニハ、無償デ土地ヲヤル譯ニハ行

キマセヌガ、改修ノ必要デ、ソレヲ更ニ他ニ移轉セシムル場合ニハ相當ノ代價デ、他

ノ適當ナ土地ヲ拂下ゲテヤルト云フコトニ付テハ出來ルダケ便宜ヲ圖ッテ參リタイト

思ヒマス
○尾崎委員 了承致シマシタ
○松實委員長 モウ御質問ハアリマセヌカ

〔アリマセヌ〕ト呼フ者アリ〕
○松實委員長 ソレデハ質問ハ是デ終了了認メマス、續イテ討論ニ入ッテ贊否ヲ決定致

シタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○松實委員長 ソレデハ左様決定致シマス
——石川君

○石川委員 本案ハ從來拓殖法ニ依テ施行シテ居ッタモノヲ、成ベク相當ナ便宜ヲ得セ

シムル意味ニ於テ北海道ニ於テ河川法ヲ施行スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマ

ス、勿論今日マデモ北海道トシテハ、河川法ニ除外シテ居ッタト云フ譯デモナイガ、又

北海道ニ河川法ヲ施行セラレテ居ッタト云フ譯デモナイヤウニナッテ居リマス、其關係

ヲ明ニスル爲ニ、本法ヲ出サレテ居ルノデアリマス、我が政友會ニ於キマシテハ本案

ニ贊成スルコトニ致シマス
○坂東委員 私ハ同志ヲ代表致シマシテ意

見ヲ陳述致シマス、只今石川君ノ御陳述ノ通りニ、此現行ノ河川法ハ、明治二十九年

ノ制定ニ係ッテ居リマスルガ、其當時ハ北海道ハマダ開拓ノ初期デアリマシタカラ、之

道ハ其儘北海道ニ適用シ難イ状態ニアリマシタ、隨テ法律ノ原則トシテハ、敢テ北海道

ヲ除外シテ居ッタ譯デハアリマセヌガ、實際ニ於テハ之ヲ適用シテ居ラナカッタノデアリマス、所ガソレデハ非常ニ不便ガアルノ

而シテ北海道ノ特殊事情、内地ト違フ點ニ付テハ勅令ヲ以テ其特殊ノ點ヲ規定スルト云フ譯デアリマスカラ、是ガ北海道ノ拓殖

上非常ニ利益デアリ、又河川法ヲ運用スル上ニ於テ、最モ公平デアアル、サウ云フ建前

ノ提案デアリマスルノデ、我黨ハ之ニ贊成ヲ致シマス、併ナガラ此法ノ適用ノ結果、

將來施行シタ場合ニ於キマシテ、堤外地ノ民有地所有者、或ハ賃借人等ガ、以前ヨリ

不利益ヲ被リハシナイカト云フコトハ、恐ラク委員多數ノ心配デアリ、今尾崎委員ノ

御心配モソレト考ヘマス、吾々モソレヲ心配シテ居リマス、隨テ政府委員ノ御答辯ハ、

サウ云フ場合ニハ適當ナ處置ヲ執ル、民有地ノ所有者或ハ賃借人等ニハ決シテ損失ヲ

與ヘナイ、サウ云フ言明ハアリマシタガ、念ノ爲ニ希望條項ヲ附シマシテ我黨ハ之ニ

贊成スルモノデアリマス、尙ホ此希望條項ハ委員長ノ御報告ニ含メラレンコトヲ希望致シマス

希望條項
一、政府ハ本法施行ノ爲ニ堤外地トナル

民有地ニ對シテハ價額ノ補償又ハ賠償ヲ爲シ其所有者又ハ賃借人等ニ不當ノ

損失ヲ與ヘザル様考慮セラレンコトヲ望ム

此希望條項ヲ附シマシテ贊成ノ意ヲ表シマス

○松實委員長 是デ討論ハ終局致シタト認メマス、政府案ニ反對ノ御意見ハナイヤウデアリマスガ、政府案ニ對シテ贊成ノ方ハ

御起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕

○松實委員長 起立全員——全會一致可決致シマシタ、只今坂東君ヨリノ御希望ハ、

然ルベク委員長ニ於テ取計フコトニ致シタイト思ヒマス、本特別委員會ニ付託サレタ

件ハ是デ終了致シマシタ、ドウモ御苦勞様デゴザイマシタ、散會致シマス

午後一時四十二分散會